

受注側クライアント機能のパッチプログラムの反映方法について

2001/02/02

今回のパッチプログラムは、再インストールを実施せず、ファイルを更新することで対応可能です。
以下に、更新ファイルと更新方法を示します。

【更新ファイル】

今回の修正において以下のファイルを更新しました。

XSL ファイル

- ・ 0301_jp.xsl
- ・ 0301_us.xsl
- ・ 0302_jp.xsl
- ・ 0302_us.xsl
- ・ 0304_jp.xsl
- ・ 0304_us.xsl
- ・ 0500_jp.xsl
- ・ 0500_us.xsl
- ・ 0601_jp.xsl
- ・ 0601_us.xsl
- ・ 1101_jp.xsl
- ・ 1101_us.xsl
- ・ Detail0302_jp.xsl
- ・ Detail0302_us.xsl

標準コードファイル

- ・ StandardCode_jp.xml
- ・ StandardCode_us.xml

【更新内容】

- ・ 契約コード（和暦 2 桁 + 契約区分）の表示方法を修正（以下の表示例を参照してください。）
 新：XX年度（和暦）国債(本機)契約 旧：国債(本機)契約
- ・ 標準コードを見直し
- ・ 単価（外貨）の小数点以下表示桁数を修正
- ・ 分納情報の表示形式を統一

【更新方法】

パッチプログラムファイルをダウンロードします。

ダウンロードしたパッチプログラムファイルは自己解凍ファイルとなっているので、パッチプログラムファイルをダブルクリックして解凍を行います。複数のファイルが解凍先フォルダに展開されます（【更新ファイル】を参照）。

スタートメニューより、「スタート」「プログラム」「航空機業界標準 EDI システム」「ファイル登録」を選択し、ファイル登録画面を表示します。

・「XSLファイル」の登録

ファイル登録画面のデータ種別コンボボックスより、「XSLファイル」（注1）を選択します。

[ファイル選択] ボタンにて表示されるダイアログで、【更新方法】 で解凍を行った変更ファイル（XSLファイル：14ファイル）を選択します。

ファイルは、パッチプログラムファイルを解凍したフォルダ内の変更ファイルを選択してください。開くダイアログで、ctrl キーを押しながらファイルをクリックすると複数ファイルの選択ができます。

[ファイル登録] ボタンをクリックして、変更ファイルを登録します。

・「標準コードファイル」の登録

ファイル登録画面のデータ種別コンボボックスより、「標準コードファイル」を選択します。

[ファイル選択] ボタンにて表示されるダイアログで、【更新方法】 で解凍を行った変更ファイルを全て（標準コードファイル：2ファイル）選択します。

ファイルは、パッチプログラムファイルを解凍したフォルダ内の該当ファイルを選択してください。開くダイアログで、ctrl キーを押しながらファイルをクリックすると複数ファイルの選択ができます。

[ファイル登録] ボタンをクリックして、変更ファイル（上記2つのファイル）を登録します。

ファイル登録画面の使用方法の詳細は、操作マニュアル 4.2.2 使用環境設定 を参照してください。